

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 23日

埼玉県知事 殿

提出者

住所 千葉県柏市豊四季945

氏名 株式会社トッパン建装プロダクツ

代表取締役社長 堀川 義晃

電話番号 04-7143-4171

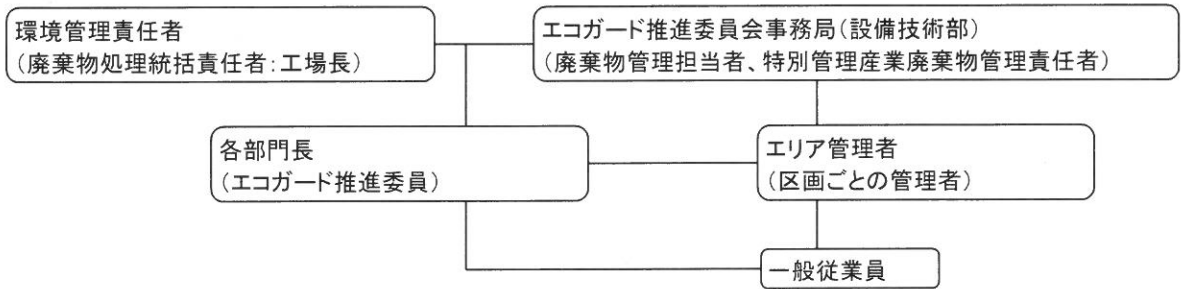
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業所の名称	株式会社トッパン建装プロダクツ幸手工場
事業所の所在地	埼玉県幸手市大字惣新田4237-1
計画期間	令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	15 印刷・同関連業
②事業の規模	資本金 1億円
③従業員数	451人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1及び2のとおり



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



※エコガード（エコガード活動）：企業活動が環境に負荷を与えていることを認識し、負荷低減に向けて総力を挙げて努力する活動をエコガード活動と呼んでいます。
※環境マネジメントシステムの運用管理組織として、エコガード推進委員会を組織しています。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙3のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙3のとおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類	t	t
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類	t	t
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 別紙3のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

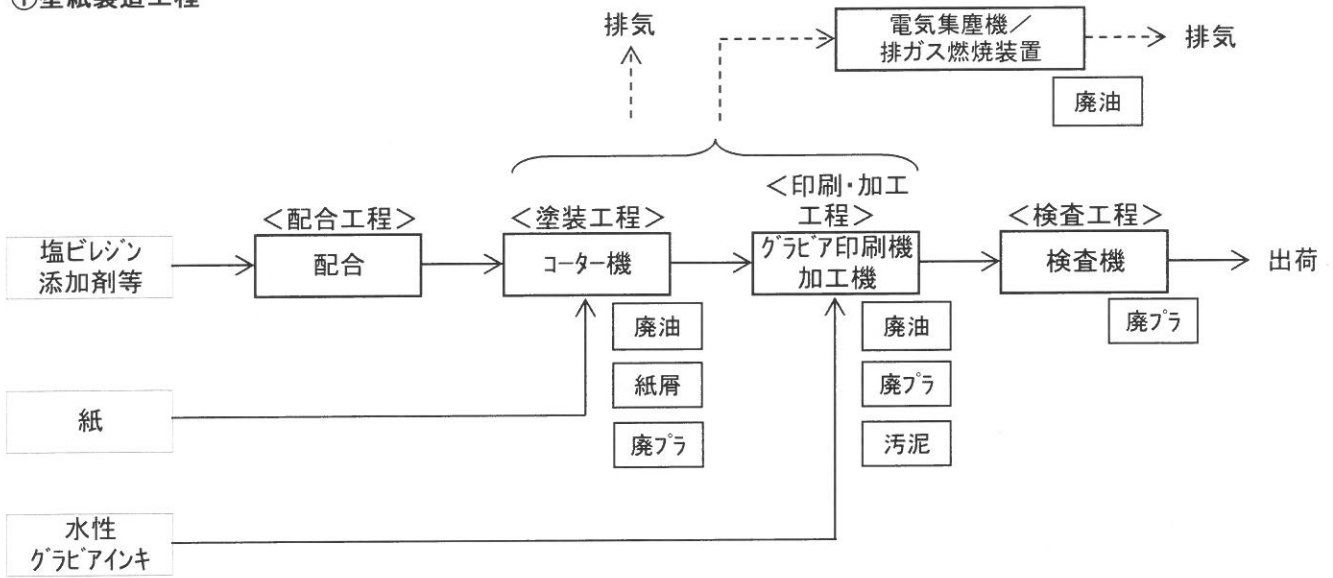
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

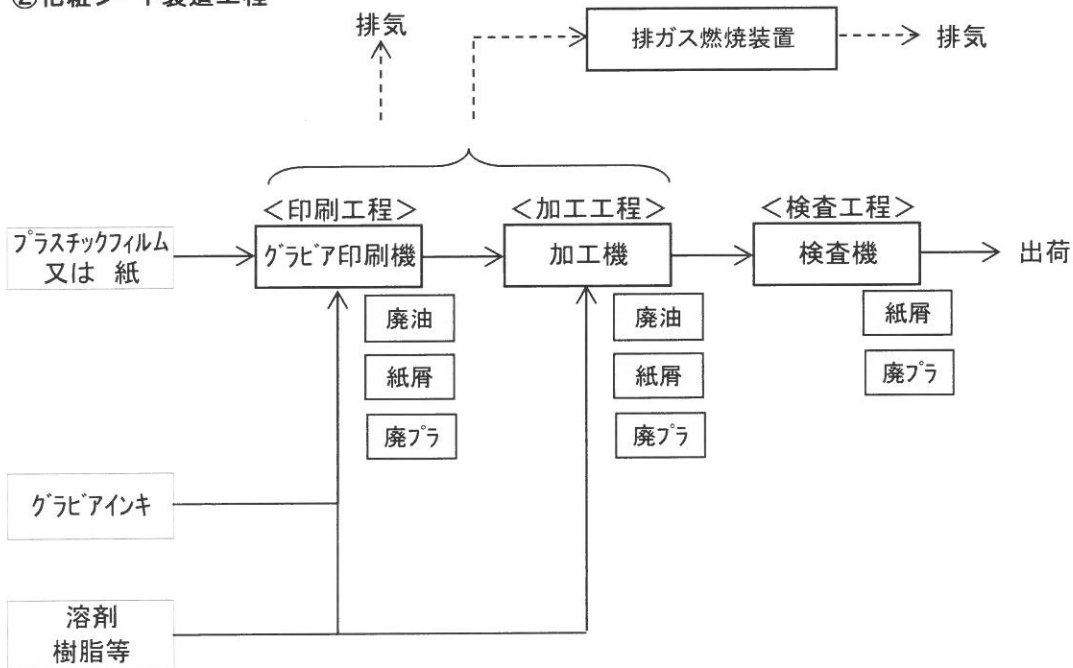
別紙1

『製造工程概要図』

①壁紙製造工程



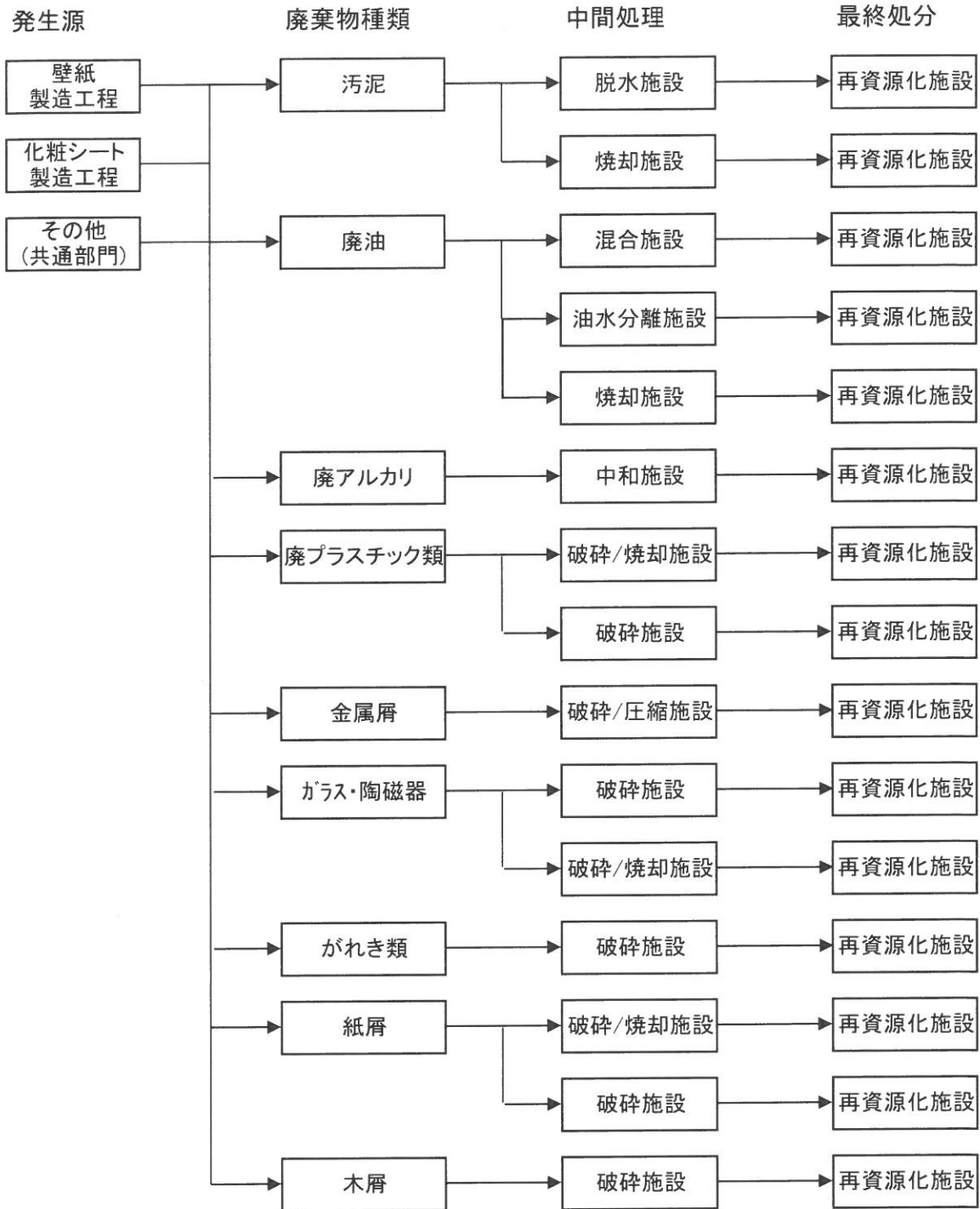
②化粧シート製造工程



『凡例』

- : 発生する主な廃棄物の種類
- : 主な原材料
- : 生産機
- : 主な原材料・製品の流れ
- - - - -> : 排気ガスの流れ

『廃棄物処理フロー概要図』(全量委託)



①現状【前年度(令和4年度)実績】

産業廃棄物									
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラ	紙屑	金属屑	ガラス・陶磁器屑	電子機器類	木屑
排出量	28.2 t	241 t	10.8 t	1,311 t	563 t	0.08 t	0.1 t	2 t	23.9 t
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
全処理委託量	28.2 t	241 t	10.8 t	1,311 t	563 t	0.08 t	0.1 t	2.0 t	23.9 t
優良認定処理業者への処理委託量	28.2 t	231 t	10.8 t	617 t	316 t	0.08 t	0.1 t	2.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	28.2 t	241 t	10.8 t	1,311 t	563 t	0.08 t	0.1 t	2 t	23.9 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	(これまでに実施した取組) ・各生産現場における歩留まり向上策(ロス発生要因の分析と、生産段取り改善によるロス(廃棄物)の極小化、等)を通じて、廃棄物の発生抑制を図っている。								
産業廃棄物の分別に関する事項	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・工程毎に発生した廃棄物を各発生場所において分別保管し、構内収集業者により収集し、当工場敷地内の廃棄物保管場所に保管する。 ・分別の際の判断基準として、「幸手工場廃棄物分別基準」を策定し、工場内各所に掲示している。また、廃棄物発生部署に対し、分別に関する教育を実施している。								
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	(これまでに実施した取組) —								
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	(これまでに実施した取組) —								
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	(これまでに実施した取組) —								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	(これまでに実施した取組) ・委託基準に基づき、委託可能な処理業者を選定している。 ・できるだけ優良認定処理業者から選定する。 ・廃棄物の適正処理の確認を目的とした廃棄物業者視察を定期的に実施する。 (新規取引の際は、処理委託契約前に事前監査を実施し、取引の可否を決定する)								

②計画【目標】

産業廃棄物									
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラ	紙屑	金属屑	ガラス・陶磁器屑	電子機器類	木屑
排出量	26.7 t	233 t	10.8 t	1,365 t	547 t	0.08 t	0.10 t	2.0 t	23.9 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
全処理委託量	26.7 t	233 t	10.8 t	1,365 t	547 t	0.08 t	0.10 t	2.0 t	23.9 t
優良認定処理業者への処理委託量	26.7 t	223 t	10.8 t	642 t	307 t	0.08 t	0.10 t	2.0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	26.7 t	233 t	10.8 t	1,365 t	547 t	0.08 t	0.10 t	2.0 t	23.9 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	(今後実施する予定の取組) ・現状取組を継続								
産業廃棄物の分別に関する事項	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状取組を継続								
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	(今後実施する予定の取組) —								
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	(今後実施する予定の取組) —								
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	(今後実施する予定の取組) —								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	(今後実施する予定の取組) ・現状取組を継続								

